

NT11-18 Cruise Summary

航海番号: NT11-18

船舶名: なつしま および ROV ハイパードルフィン 3000

航海名称:

- 多良間海丘「酸化鉄被膜地帯」での鉄利用微生物の生態系とそれら微生物活動を支える環境因子の解明
- 珊瑚礁から深海にかけての多様性パターン: 事前調査ツールとしての深海生物追跡ロボットシステム「PICASSO」の有効性
- 気-液二相分離した熱水と岩石の相互作用に関する地球化学的研究の再評価

首席研究者: 牧田寛子 (JAMSTEC)

課題提案者: 牧田寛子 (JAMSTEC)、REIMER James Davis (琉球大学)、山中寿朗 (岡山大学)

航海期間および出入港地: 2011年9月12日(石垣) ~17日(石垣) 調査

海域: 沖縄トラフ 水深: 200-2,000m

調査概要: 以下の現場実験及びサンプリングを行った。

1. 鉄バクテリア培養装置の回収・設置
2. 表層堆積物および生物の採取
3. 濁度および溶存酸素測定
4. ^{13}C -標識基質を用いた現場培養実験

潜航番号および日付

Hyperdolphin Dive#1322 (Sep. 15, 2011)

Hyperdolphin Dive#1323 (Sep. 16, 2011)